

政策シート

(政策名) 知の拠点としての図書館機能の拡大

(予算費目名) 図書館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

図書館サービスの一層の向上と、地域に根ざした情報拠点の創出を目指し、「いかす」「はぐくむ」「つながる」「つくる」をキーワードに、多様なニーズに応える資料の収集と誰もが利用しやすい図書館づくりを進める。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	1,128,681	1,218,147	1,131,195	1,179,139	1,114,772
決算	1,110,842	1,180,893	1,122,545	1,164,794	
人件費(A)	359,800	363,400	363,400	366,400	352,400
報酬(B)	108	136	131	126	165
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,470,750	1,544,429	1,486,076	1,531,320	1,467,337

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
貸出冊数(万冊)	万冊	418	目標	409	410	411	412	420
			実績	416	429	425	420	
貸出利用者数(万人)	万人	118	目標	113	114	115	116	116
			実績	114	118	116	114	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

図書館サービスの一層の向上と、地域に根ざした情報拠点の創出を目指し、「いかす」「はぐくむ」「つながる」「つくる」を新たなキーワードに、多様なニーズに応える資料の収集と誰もが利用しやすい図書館づくりを進める。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・H30.10月に図書管理電算システムを更新し、ホームページの利便性向上等、サービスの充実を図った。 ・各館による企画展示、各種講座、イベント等の開催などを通じ、多くの資料貸出があった。 ・電子図書館事業(デジタルアーカイブ)では、総アクセス数で430万件を超える利用があった。掲載資料のさらなる充実が課題である。 ・外国語を主とした電子図書サービスの提供(試行)を行った。本運用に向けての検証が必要である。 ・学習支援パックは資料の充実により貸出数が増加した。また、調べ学習講座参加数及び調べ学習コンクールへの応募数も増加しており、児童・生徒の調べ学習の促進に効果がみられた。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	図書館運営事業	○	○			1,466,637	1,114,072	42.0	3.0		17.0	165
2	国際児童年記念児童文庫基金積立金					700	700					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,467,337	1,114,772	42.0	3.0		17.0	165

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 図書館運営事業

◇事業目的・事業対象

図書館サービスの基本となる図書資料の収集と貸出しや各種講座・講演会の実施、児童サービス等を通して、市民の生涯にわたる学習活動の支援を行うとともに、知の拠点としての図書館機能の充実を図る。

◇事業の概要

- ① 図書館管理運営事業…市立図書館(23館1分室(内17館は指定管理))の管理運営を行う。
- ② 図書館指定管理運営事業…指定管理館17館の管理・運営指導を行う。
- ③ 図書館サービスシステム維持管理事業…図書館サービスシステムの維持管理及びホームページ等による情報発信サービスを行うとともに、図書館システムの更新に向け、調査・研究を行う。
- ④ 資料収集事業…一般図書、児童書、新聞雑誌、郷土資料、参考図書、視聴覚資料等の図書館資料を購入する。
- ⑤ 電子図書館事業…浜松市史等歴史資料のデジタル化整備と外部閲覧システムによる一般公開及び多文化共生に資する電子図書サービスの提供を行う。
- ⑥ 調べ学習応援事業…学習支援パックの貸出、充実化及び調べ学習コンクールを開催する。
- ⑦ 図書館サービス事業…各種講座、講演会等の開催や、音訳・点訳を通して読書資料を提供する声のライブラリー事業、郷土資料の調査・整理・保存、多言語資料の充実化等の多文化サービス、読み聞かせボランティアの養成、レファレンスサービスを行う。
- ⑧ ブックスタート事業…0歳児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせやわらべうたの実演、絵本等の配布を行う。
- ⑨ 施設整備事業…図書館施設の整備及び中長期的視点に立った適切な維持管理・保全業務を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S25	-	一般会計	自治事務	図書館法、同施行令、同施行規則、浜松市立図書館条例、同施行規則	○		○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,127,681	1,217,147	1,130,195	1,178,439	1,114,072
	決算	1,110,542	1,180,593	1,121,845	1,164,494	
	国・県支出					
	市債					
	その他	9,867	15,659	11,534	4,329	4,580
	一般財源	1,100,675	1,164,934	1,110,311	1,160,165	1,109,492
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		108	136	131	126	165
人件費 (千円)		359,800	363,400	363,400	366,400	352,400
人工	正規	44.8	44.0	44.0	44.0	42.0
	再任用(h31)	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	再任用(h26)	1.0	1.0	1.0		
	非常勤	13.0	15.0	15.0	17.0	17.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.5、4.7、4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共図書館は、基本的人権のひとつとして「知る自由」をもつ国民に、資料と施設と提供することを最も重要な任務としている。すべての人が平等に利用でき、あらゆる段階での個人的および自主的な教育を支援することが図書館の役割である。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
貸出冊数(万冊)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	409	410	411	412	420	421	422	
実績値	416	429	425	420				
貸出利用者数(万人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	113	114	115	116	116	117	118	
実績値	113	118	116	114				
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合					II-2(1)イ			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	30.7	31.5	32	32.5	33	33.5	35	
実績値	30.7	36.2	27.1	32.3				
貸出冊数(万冊)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
貸出利用者数(万人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ①図書館管理運営事業…市直営図書館7館の管理運営及び図書運搬等を行う。
- ②図書館指定管理運営事業…指定管理館17館の管理・運営指導を行う。
- ③図書館サービスシステム維持管理事業…図書館サービスシステムの維持管理及びホームページ等による情報発信サービスを行うとともに、図書館システムの更新に向け、調査・研究を行う。
- ④資料収集事業…一般図書、児童書、新聞雑誌、郷土資料、参考図書、視聴覚資料等の図書館資料を購入する。
- ⑤電子図書館事業…浜松市史及び史資料等のデジタル化整備と外部閲覧システムによる一般公開を行う。
- ⑥調べ学習応援事業…学習支援パックの貸出、充実化及び調べ学習コンクールを開催する。
- ⑦図書館サービス事業…各種講座、講演会等の開催や、音声・点訳を通して読書資料を提供する声のライブラリー事業、郷土資料の調査・整理・保存、多言語資料の充実化等の多文化サービス、読み聞かせボランティアの養成、レファレンスサービスを行う。
- ⑧ブックスタート事業…0歳児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせやわらべうたの実演、絵本等の配布を行う。
- ⑨施設整備事業…図書館施設の整備及び中長期的視点に立った適切な維持管理・保全業務を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・H30.10月に図書管理電算システムを更新し、ホームページの利便性向上等、サービスの充実を図った。
- ・各館による企画展示、各種講座、イベント等の開催などを通じ、多くの資料貸出があった。
- ・電子図書館事業(デジタルアーカイブ)では、総アクセス数で430万件を超える利用があった。登載資料のさらなる充実が課題である。
- ・外国語を主とした電子図書サービスの提供(試行)を行った。本運用に向けての検証が必要である。
- ・学習支援パックは資料の充実により貸出数が増加した。また、調べ学習講座参加数及び調べ学習コンクールへの応募数も増加しており、児童・生徒の調べ学習の促進に効果がみられた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成31年4月1日更新の7館(可新・はまゆう・舞阪・雄踏・細江・引佐・三ヶ日)の指定管理の公募・選定を実施し、可新・雄踏には新たな業者を選定した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成30年度に策定した「浜松市図書館ビジョン」に基づき、事業を進める。
・23館1分室中16館1分室が指定管理者による運営、中央・城北図書館の2館が窓口業務委託化となっているが、市が運営ノウハウを継続的に維持するため、図書館統括機能の見直しを行い中央図書館の窓口業務の直営化を検討する。併せて、民間活力を活用した地区図書館サービスの更なる充実を目指し、城北図書館への指定管理者制度導入を検討する。

事業シート (事業名) 国際児童年記念児童文庫基金積立金

◇事業目的・事業対象

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、児童図書等の資料の購入により児童図書等の充実を図る。

◇事業の概要

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、児童図書等の資料の購入により児童図書等の充実を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	-	一般会計			-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,000	1,000	1,000	700	700
	決算	300	300	700	300	
	国・県支出					
	市債					
	その他	300	300	700	300	700
	一般財源					
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)						
人工	正規					
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.5、4.7、4.a	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共図書館は、基本的人権のひとつとして「知る自由」をもつ国民に、資料と施設と提供することを最も重要な任務としている。すべての人が平等に利用でき、あらゆる段階での個人的および自主的な教育を支援することが図書館の役割である。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、児童図書等の資料の購入により児童図書等の充実を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・篤志家からの寄付の積み立てを行い、児童図書の購入費に充当し、図書館の絵本をはじめとした児童資料の充実を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き篤志家からの寄付を積み立てし、児童書の充実のため絵本等の児童書の購入に充当する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工